

## 1-1 施設アンケート調査の実施結果（概要）

### 1-1-1 調査の概要

○公共交通以外の移動手段を運行していると想定される施設等を対象に公共交通以外の移動サービスの有無、運行概要及び運営面・運行体制等の状況を把握するため、アンケート形式の調査を実施した。

表 調査の概要

項目	概要
調査目的	公共交通以外の移動手段を運行していると想定される施設等を対象に公共交通以外の移動サービスの有無、運行概要及び運営面・運行体制等の状況を把握
対象	公共交通以外の移動手段（患者送迎バス等）を運行していると想定される施設・団体 ・医療機関（2施設）：医療法人辰星会(枳病院・枳記念病院)、独立行政法人地域医療機能推進機構 二本松病院 ・温泉宿泊施設（16施設）：ながめの館 光雲閣、あだたらの宿 扇や、陽日の郷 あづま館、お宿 花かんざし、空の庭リゾート、鏡が池 碧山亭、あだたらふれあいセンター、ホテルパラダイスヒルズ、ペンション イノセントエイジ、ペンション シャンカー、空の庭 プチホテル、くろがね小屋、岳の湯、民宿 和楽荘、湯川溪流の宿 青木荘 ・工場（1施設）：二本松 NOK 株式会社 ・商業施設（1施設）：有限会社 ショッピングセンターいわしろ
調査方法	郵送による配布・回収
配布票数・回収票数	配布票数20票・回収票数12票（回答率60.0%）
調査期間	令和4年12月9日（金）～12月23日（金）

## 1-2 調査結果

### 1-2-1 調査結果

#### 1) 移動サービス（送迎バスなど）の実態等について

##### ① 運行の有無

○移動サービスの運行の有無は、「運行している」が66.7%と最も高く、次いで「運行していない」が33.3%と続いている。

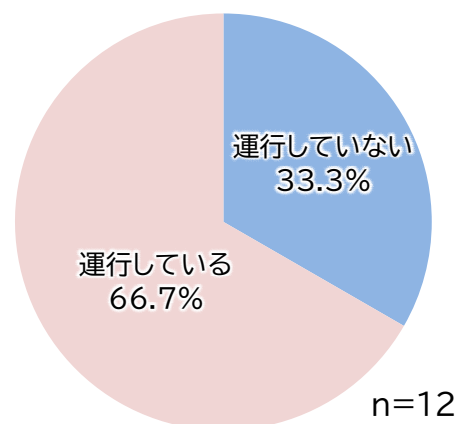


図 移動サービスの運行の有無

#### ② 運行概要 ※運行していると回答した企業のみ

##### ■運行経路、運行本数、利用対象者、利用方法

○運行方法は、「定時定路線」が4社と最も多くなっている。  
 ○運行本数は、医療法人辰星会(枳病院・枳記念病院)が「3本」と最も高く、次いでお宿花かんざし、ながめの館光雲閣、陽日の郷あづま館が「1本」と続いている。  
 ○利用対象者は、「施設利用者全員」が6社と最も高く、次いで「施設利用者のうち、特定の方」が2社と続いている。  
 ○利用方法は、「予約要」が7社と最も高く、次いで「指定の場所で待つ（予約不要）」が1社と続いている。  
 ○運行体制（職員）は、「職員が運転」が7社と最も高く、運行体制（台数）は各事業者によってさまざまであった。  
 ○運行車両は、「大型車両」が6社と最も高く、次いで「小型バス車両」が5社と続いている。

表 公共交通以外の移動サービスの運行概要

	運行方法	運行本数 (日)	利用対象者	利用方法	運行体制 (職員/車両台数)	運行車両
医療法人辰星会 (枳病院・枳記念病院)	定時定路線	3	施設利用者 全員	指定の場所 で待つ (予約不要)	丸や交通・増子タク シー・昭和タク シー/3台	中型バス 車両、大 型車両
お宿 花かんざし	定時定路線	1	施設利用者 全員	予約要	職員1人/1台	大型車両
あだたらふれあい センター	—	—	施設利用者 全員	予約要	職員4人/3台	小型バス 車両、大 型車両、 小型車両
ながめの館 光雲閣	定時定路線	1	施設利用者 全員	予約要	職員/5台	中型バス 車両、小 型バス車 両、小型 車両
ホテルパラダイスヒルズ	—	—	施設利用者の うち特定の方	予約要	職員2人/2台	小型バス 車両
陽日の郷 あづま館	定時定路線	1	施設利用 者全員	予約要	職員6人/3台	小型バス 車両、大 型車両
あだたらの宿 扇や	—	—	施設利用者 全員	予約要	職員1人/2台	小型バス 車両、大 型車両
(有)ショッピングセンター いわしろ	—	—	施設利用者の うち特定の方	予約要	職員1人/1台	大型車両

## 2) 過去の運行実績

○移動サービスの運行の有無は、「行っていたことがある」「行っていたことはない」が 50.0%と最も高かった。  
 ○運行をやめた理由は、「車両の維持が困難になったから」が 50.0%と最も高かった。

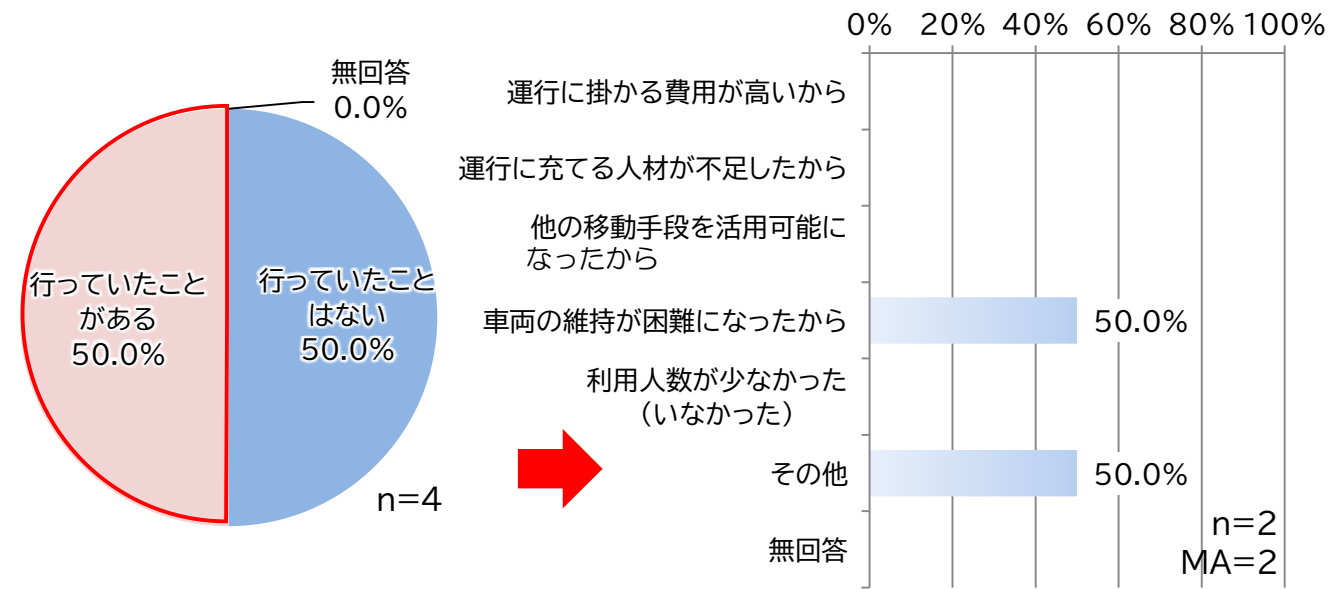


図 過去に移動サービスを行っていたか

図 運行をやめた理由

## 3) 移動サービスを運行する上で問題となっていること

○移動サービスを運行する上で問題となっていることの主な意見としては下記のとおりである。

移動サービスを運行する上で問題となっていること	
	従業員の負担が大きく座席数が限られているため、すべてのお客様の要望に応えられない。
	車両の維持費用が高い。
	運行にかかる経費が高い。
	利用者が増えない。

## 4) 施設の移動手段確保について問題となっていること

○施設の移動手段確保について問題となっていることの主な意見としては下記のとおりである。

施設の移動手段確保について問題となっていること	
	路線バスが廃線になり、運転できない患者の通院ができない。
	運行本数や路線数を増やしたいが、費用の面から難しい。自治体からの補助などがあれば助かる。
	公共交通機関が不便。
	バスの利便性がよくない。
	公共交通の本数が少ない。
	経費・維持費
	タクシーの価格が高い。

## 5) 施設の移動手段の確保に向けて取り組んでいること

○施設の移動手段の確保に向けて取り組んでいることの意見は無かった。

## 6) 公共交通に関するご意見・要望

○公共交通の自由意見の主な意見としては下記のとおりである。

公共交通に関するご意見・要望	
	路線バスの本数を増やしてほしい。
	時間帯（ホテルのインアウト時間に合わせて）によりダイヤを増やしてほしい。
	施設前にバス停を設置してほしい。
	コミュニティバス・デマンドタクシーが施設まで来てほしい。
	岳温泉～二本松～郡山駅間を運行する観光客専用のシャトルバスの運行。
	沖縄県で行っている地域ミニバス方式があると大変便利。
	循環バスの乗車率が低いのであれば、大型バスではなく中型に入れ替え燃料代や車検代のコストを下げ、循環の本数を増やす、バスの入れ替えには市の予算が必要になると思うが、ほかの自治体でもやっている GPS を利用したサービスなど市民特に高齢者が利用しやすいサービスを増やす。路線の見直しは何年に 1 度行っているのか。市内の各企業、各施設が増えたり、閉業したりするので、それに合わせて路線の見直しを行うべきと感じている。